LIXIL
INAX

Shower toilet

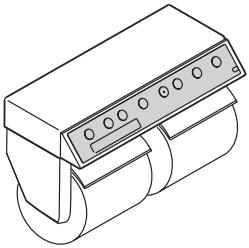
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にシャワートイレ本体の説明書とこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

本書では、インテリアリモコンでの操作方法のみを記載しております。
これ以外の操作方法･安全上の注意･アフターサービスなどは、シャワートイレ本体の取扱説明書をご覧ください。

インテリアリモコン

CW-E77Q 型・CW-E77 型
CW-E75Q 型・CW-E75 型
CW-E74Q 型・CW-E74 型
CW-E67Q 型・CW-E67 型
CW-E65Q 型・CW-E65 型
CW-E64Q 型・CW-E64 型
CWW-E77Q型・CWW-E77 型



説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

はじめに…… 1
各部のなまえ…… 2
ご使用方法
●ご使用前の準備 (電源・温水・便座)…… 4
●基本機能の使いかた (おしり・ワイド・ワイドS洗浄)… 5
(ビデ・ワイド・スーパーワイドビデ洗浄)… 6
(マッサージ洗浄・洗浄位置)… 7
(温風乾燥)…… 8
(脱臭)…… 9
●快適機能の使いかた (節電)…… 11
(フルオート便座)…… 12
(自動便器洗浄)…… 13
(ほのかライト)…… 14
(より快適な機能)…… 15
便座ヒーターオート OFF、便器洗浄開始時間、温風始動温度、洗浄強さなど
ノズルシャッターの掃除 …… 19
ノズルの掃除 …… 21
ノズル先端の交換 …… 23
リモコンの電池交換 …… 25

はじめに

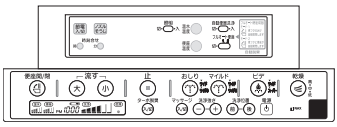
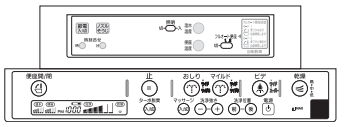
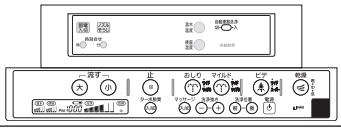
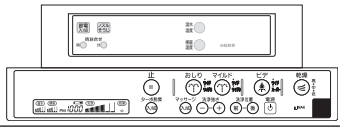
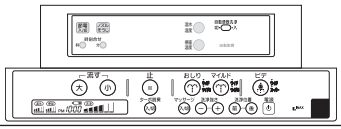
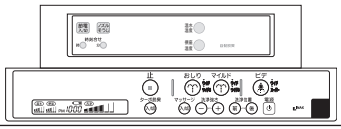
このたびはインテリアリモコンをお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、インテリアリモコンを有意義に、そして末永くお使いいただくための説明が記載してあります。
インテリアリモコンは、全部で６種類あります。

保有機能が異なりますので、シャワートイレ便フタ裏の品番シールとリモコンにてお客さまの品番・保有機能をご確認ください。

■保有機能一覧（あり：○、なし：－）

シャワートイレ本体品番		CW-E77Q CW-E67Q CWW-E77Q	CW-E77 CW-E67 CWW-E77	CW-E75Q CW-E65Q	CW-E75 CW-E65	CW-E74Q CW-E64Q	CW-E74 CW-E64
おしり・ビデ洗浄		○	○	○	○	○	○
マイルド洗浄		○	○	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄		○	○	○	○	○	○
Wパワー脱臭		3モード	3モード	2モード	2モード	2モード	2モード
ターボ脱臭		○	○	○	○	○	○
省エネ暖房便座		○	○	○	○	○	○
節電		○	○	○	○	○	○
温風乾燥		○	○	○	○	－	－
フルオート便座		○	○	－	－	－	－
ほのかライト		○	○	－	－	－	－
自動便器洗浄	大(小)洗浄	○	－	○	－	○	－
	男子小洗浄	○	－	－	－	－	－

■リモコン一覧

自動便器洗浄付（QA,QB,QC）		自動便器洗浄なし	
CW-E77Q 型 CW-E67Q 型 CWW-E77Q 型		CW-E77 型 CW-E67 型 CWW-E77 型	
CW-E75Q 型 CW-E65Q 型		CW-E75 型 CW-E65 型	
CW-E74Q 型 CW-E64Q 型		CW-E74 型 CW-E64 型	

※ 機種によってスイッチの数や種類が異なります。

各部のなまえ

■リモコン本体　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

● 操作部

おしり
おしりを洗うときに使用します。2回スイッチを押すとワイド洗浄、3回スイッチを押すとワイドS洗浄に切り替わります。（☞5ページ）

乾燥 ★
ぬれた部分を乾かすときに使用します。（☞8ページ）

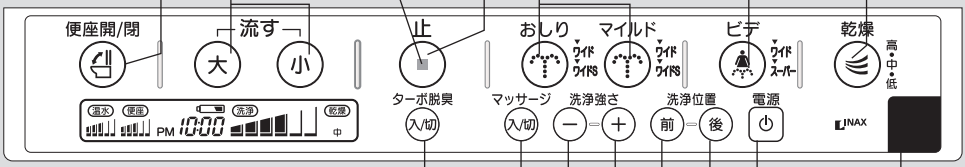
流す ★
便器内洗浄をするときに使用します。（☞13ページ）

止
●おしり、マイルド洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作を止めます。

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄になります。さらにスイッチを押すとスーパーワイドビデ洗浄になります。（☞6ページ）

便座開 / 閉 ★
便座を開閉するときに使用します。（☞12ページ）

表示ランプ ★
ほのかライトを「入」にすると点滅表示します。（ほのかライト☞14ページ）



送信部

ターボ脱臭
強力に便鉢内のニオイを除去します。（☞10ページ）

マッサージ
おしり、マイルド洗浄強さの強弱を繰り返します。（☞7ページ）

洗浄強さ
おしり洗浄、マイルド洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。（☞5·6ページ）

洗浄位置
洗浄位置を調節します。（☞7ページ）

電源入／切
シャワートイレ本体の電源を入 / 切します。（☞4ページ）

● 液晶部

便座温度表示
便座温度を表示します。（☞4ページ）

電池マーク
電池の寿命が近づくと表示します。（☞25ページ）

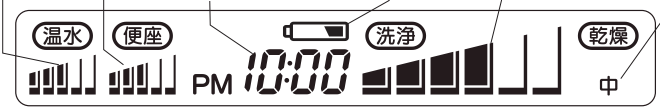
洗浄強さマーク
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを表示します。（☞5·6ページ）

温水温度表示
温水温度を表示します。（☞4ページ）

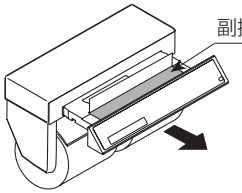
時刻表示
（☞3ページ）

OFF 表示
（☞4ページ）

乾燥表示 ★
温風温度を表示します。（☞8ページ）



● 副操作部



リモコンを引き出し、フタを開けます。

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。(☞ 21 ページ)

節電
便座のヒーターを切って節電します。(☞ 11 ページ)

照明 (ほのかライト) ★
足元、便鉢内を照らします。(☞ 14 ページ)

温水温度スイッチ
温水温度を調節します (☞ 4 ページ)

自動便器洗浄 ★
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。(☞ 13 ページ)

時・分
時計の時刻をあわせるときに使用します。

便座温度スイッチ
暖房便座の温度を調節します。(☞ 4 ページ)

フルオート便座 ★
人体を検知して自動的に便フタを開閉します (☞ 12 ページ)

※脱臭は、自動でファンが作動します。(☞ 9 ページ)

■ 時計の合わせかた

「時」と「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

※ AM (午前)、PM (午後) に注意してください。

ご使用方法

《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

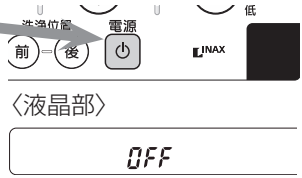
■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入るとシャワートイレ本体の電源ランプ(緑色)が点灯します。

※ リモコン電源「切」を行うと、シャワートイレ本体電源が切れ、リモコン液晶部に「OFF」が表示されます。

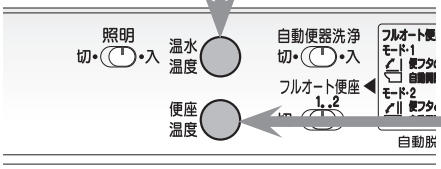
※ 購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、シャワートイレの電源は「入」の状態になります。



■温水（シャワーの温めかた）

温水温度スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは 6 段階（「切（水温）」、「低（約 32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。



■便座（便座の暖めかた）

便座温度スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは 6 段階（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 36℃）」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますので、お好みの温度に設定してください。

参考

- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。（☞ 15 ページ）
- 本製品は省エネ暖房便座を使用しています。詳しくはシャワートイレ取扱説明書 17 ページをご覧ください。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

⚠ 警告

- ●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- ●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
  〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
- ※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

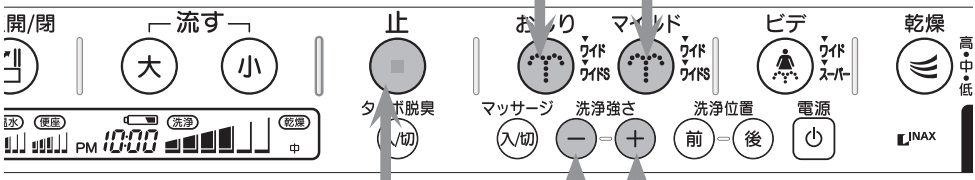
《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄▶ワイド洗浄▶ワイドＳ洗浄

1 おしりまたはマイルドスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗浄します。
局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
おしり洗浄　：力強いシャワーで洗浄
マイルド洗浄：優しいシャワーで洗浄

おしり洗浄 / マイルド洗浄（1 回押し）	→	ワイド洗浄（2 回押し）	→	ワイドＳ洗浄（3 回押し）
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。		ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。		ノズルが前後に短いストロークで動いて、丁寧に洗浄します。



2 洗浄強さの「＋」または「−」スイッチを押してシャワーの強さを調節します。

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしり洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージなどのスイッチを押すとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。
※ **ノズルオートクリーニングについて**
おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

参考

おしり洗浄の洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーをさらに弱くする機能が付いています。（☞ 16 ページ）

便座に座ったり、シャワースイッチを押したときは、温水を出す準備のためにノズル付近から、しばらく水が出ます。また、冬期や寒い地域などは、温水が温まるまでに時間がかかります。

便座に座った直後やシャワー使用時やその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

注意

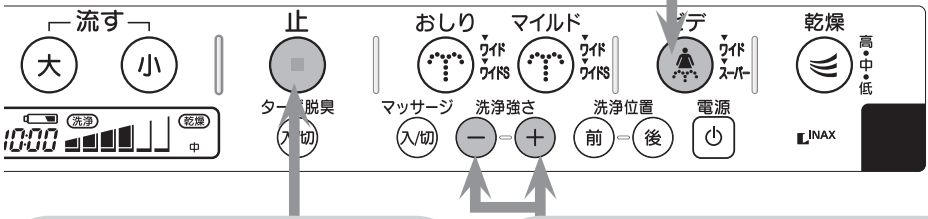
- 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの洗浄強さが弱くなることがあります。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- おしり洗浄時に便器洗浄を行うと、おしり洗浄を停止します。〈自動便器洗浄付の場合〉
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

■ビデ洗浄 ▶ ワイド洗浄 ▶ スーパーワイドビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
※ ビデ洗浄中、ビデスイッチを押すたびにモードが切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度ビデスイッチを押すと「ビデ洗浄」から始まります。

ビデ洗浄（1 回押し）	→	ワイド洗浄（2 回押し）	→	スーパーワイドビデ洗浄（3 回押し）
ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。		ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。		ノズルが前後に動いて、ワイド洗浄より、広い範囲を洗浄します。 ※ 4 回押すとビデ洗浄に戻ります。



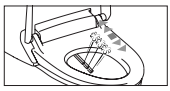
3 止めるときは止スイッチを押します。

※ ビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージなどのスイッチを押すとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

※ **ノズルオートクリーニングについて**
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

参考

スーパーワイドビデ洗浄とワイド洗浄 (ビデ洗浄) の差異



	洗浄幅
スーパーワイドビデ洗浄	前5mm ×後15mm
ワイド洗浄（ビデ洗浄）	前5mm ×後 5 mm

2 洗浄強さの「＋」または「−」スイッチを押してシャワーの強さを調節します。

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。

注意

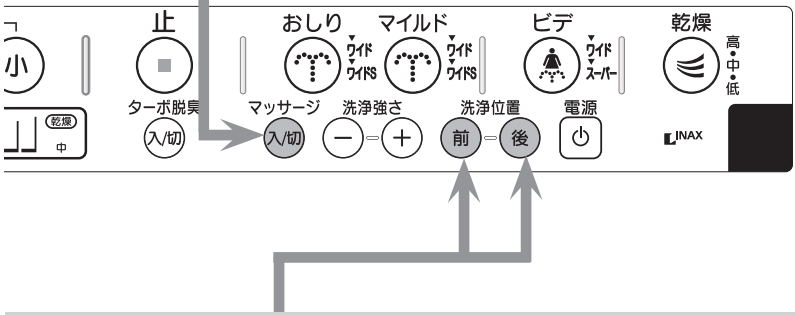
- 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの洗浄強さが弱くなることがあります。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- ビデ洗浄時に便器洗浄を行うと、ビデ洗浄を停止します。〈自動便器洗浄付の場合〉
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

■マッサージ洗浄

おしり洗浄、マイルド洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

1 おしり洗浄、マイルド洗浄中にマッサージスイッチを押します。

2 止めるときは再びマッサージスイッチを押します。

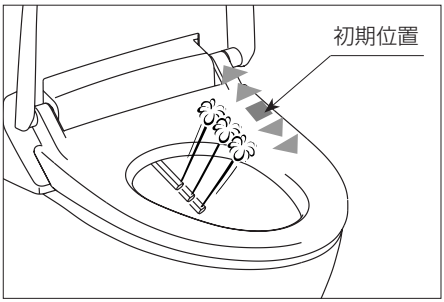


■洗浄位置の調節

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

※ 洗浄位置を全５段階に調節することができます。
初期位置、前２段 後２段の計５段階です。
※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



■温風乾燥　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

温風が出て、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

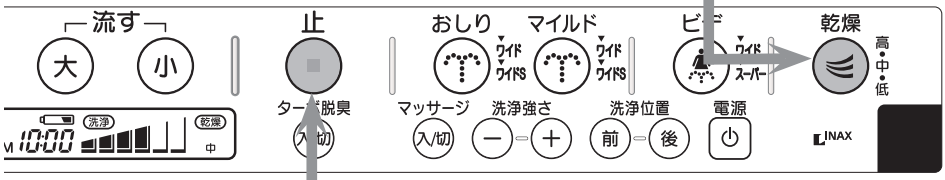
1 乾燥スイッチを押します。

※ 温風の温度は３段階に調節できます。
※ 乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

2 温風温度を変えるときは、もう一度乾燥スイッチを押します。

※ スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度が切り替わり、液晶部に表示されます。
※ スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 乾燥は、４分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」または「低」から始まるようにする“温風始動温度切替え”機能が付いています。（☞ 16 ページ）

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
  〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

■脱臭

脱臭には**自動脱臭**と**ターボ脱臭**の 2 種類があります。

1. **自動脱臭**　：使用者の行動に合わせ自動的に「フルパワーモード」または「パワーモード」を切換え便鉢内のニオイを除去します。
2. **ターボ脱臭**：リモコンのターボ脱臭スイッチを押すと自動脱臭時より、便鉢内のニオイを強力に除去します。

1. 自動脱臭

フルオート便座付の場合（3 モード脱臭）

1 便フタが開くと脱臭を始めます。

※ 人を検知すると脱臭ファンが「フルパワーモード」で作動し、ニオイを除去します。

2 便座に座ります。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」になり、ニオイを除去します。

3 便座から立ち上がります。

※ 再び脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。
※ 脱臭ファンは立ち上がって 1 分後に自動停止します。

フルオート便座無の場合（2 モード脱臭）

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 便座から立ち上がります。

※ 脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。
※ 脱臭ファンは、立ち上がって 1 分後に自動停止します。

※ 脱臭カートリッジにつきましては、シャワートイレ本体の取扱説明書「お手入れ方法／脱臭効果が弱くなったら」をご覧ください。

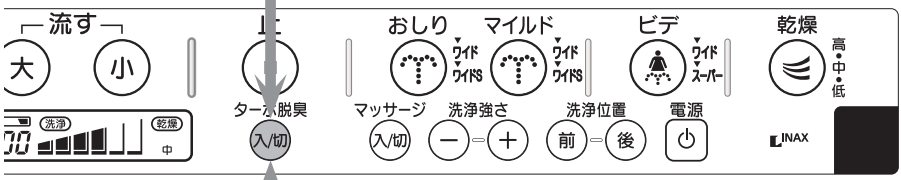
参考

● シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カードリッジがついています。

2. ターボ脱臭

1 自動脱臭作動中に、ターボ脱臭スイッチを押します。

※ 脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去機能が更に向上します。



2 ターボ脱臭を止めるときは、もう一度ターボ脱臭スイッチを押します。

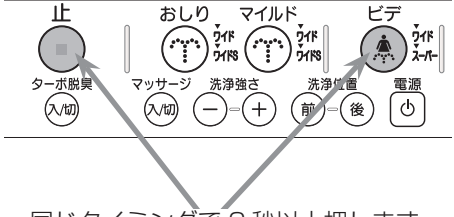
※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。

■自動脱臭を使用しない場合

止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。

※ 再び、使用する場合も止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。



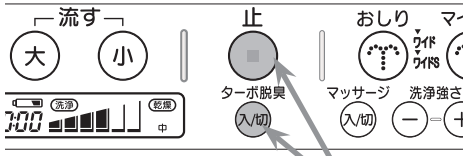
同じタイミングで２秒以上押します。

■自動脱臭を常にターボモードとする場合

止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで２秒以上押します。

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅し、脱臭ファンは「ターボモード」で、便鉢内のニオイを除去します。

※ 元に戻す場合も止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで2秒以上押します。（元に戻すと、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）



同じタイミングで２秒以上押します。

※電源ランプは、シャワートイレ本体にあります。

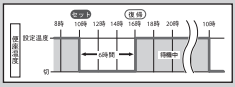
《快適機能の使いかた》

■節電

冬場等、室温が 18℃に満たないときは、便座を早く暖めるため便座を約 18℃で保温しています。
外出時や就寝時等のトイレを使わないときに、スイッチを押してから一定時間、便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える機能です。
節電を設定した場合も、人体検知センサーや着座センサーが働けば便座を設定温度に暖めます。

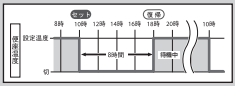
■節電には、次の 3 種類があります。

6 時間節電



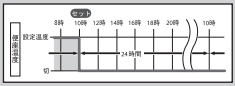
1 日の中でセットした時刻から 6 時間（24 時間ごと）節電を行います。
※ この設定を行うと、本体表示部の省エネレベル表示が「白色」に点灯します。
※ 待機中は省エネレベル表示が点滅します。

8 時間節電



1 日の中でセットした時刻から 8 時間（24 時間ごと）節電を行います。
※ この設定を行うと、本体表示部の省エネレベル表示が「青色」に点灯します。
※ 待機中は省エネレベル表示が点滅します。

24 時間節電



24 時間（常時）節電を行います。
※ この設定を行うと、本体表示部の省エネレベル表示が「緑色」に点灯します。

1 節電スイッチを押します。

※本体表示部の省エネレベル表示が白色に点灯します。

2 節電の時間を切替えるときは、節電スイッチを押します。

※本体表示部の省エネレベル表示の色が切り替わります。

スイッチを押すごとに「切」から「6 時間節電」→「8 時間節電」→「24 時間節電」→「切」と節電の時間が切り替わります。
節電の時間は、本体表示部の表示の色で確認できます。

●本体表示部

（消灯）　（白色点灯）　（青色点灯）　（緑色点灯）

切 → 6 時間節電 → 8 時間節電 → 24 時間節電 → 切

3 節電機能を使用しないときは、節電スイッチを押し、「切」にします。

※本体表示部の省エネレベル表示が消灯します。

[注 意]
- トイレの扉を開けたままにしておくと、「人体検知センサー（上）」が人を検知し、便座を暖める場合があります。
- 節電を設定しているときは便座を暖めるのに時間がかかります。

（参考）
- 停電時や電源プラグを抜いたときは、節電の設定がリセットされます。
- 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。
- 節電時は、便座の保温を切っているため、座った際に冷たいと感じる場合があります。便座あたためランプを確認の上、座ってください。

■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

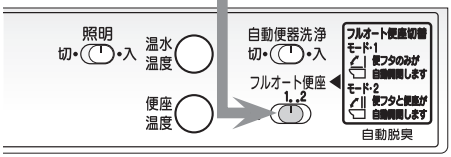
※機種によっては、この機能がない場合があります。

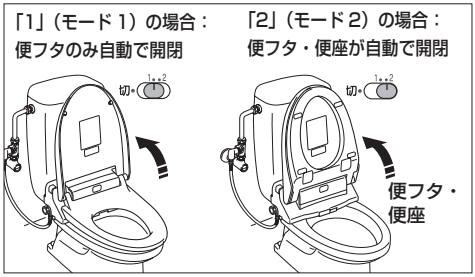
フルオート便座には 2 通りの方法があります。

1. 自動的に便フタが開閉する

便器の前に立つと便フタ（便座）が自動で開き、便器から離れると約 1 分後に自動で閉じます。

1 フルオート便座スイッチを「1」または「2」にします。





2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

2. リモコンで便座のみ開閉する

リモコンのスイッチを押すと電動で便座のみ開閉します。

1 便座開 / 閉スイッチを押します。

2 便座を閉めるときは、再び便座開 / 閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「1」または「2」にしておくと便器から離れて約 1 分後に便座・便フタが閉まります。

※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、自動的に開閉します。

※ 小さなお子さまが使用するときは、リモコンのフルオート便座スイッチを「切」にしてください。
小さなお子さまの場合、着座センサーが検知できず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

- 不適切なカバーをご使用の場合は、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。
- シャワートイレ便座昇降装置「おしリフト」・背もたれ付手すりなどをご使用の場合、便フタを外しますのでフルオート便座はご使用になれません。
- 人体検知センサー部が汚れていると、正常に作動しない場合があります。このような場合は、センサー部を柔らかくきれいな布でふいてください。

■自動便器洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

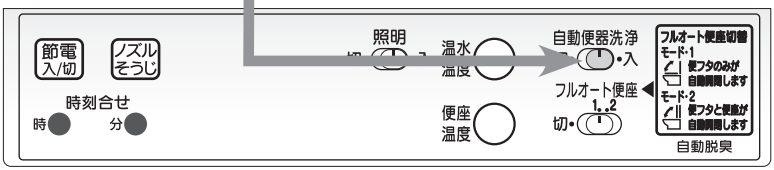
自動便器洗浄には 2 通りの方法があります。

1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う**“自動便器洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う**“リモコン便器洗浄”**。

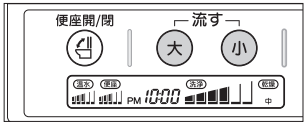
1. 自動便器洗浄のしかた

1 自動便器洗浄スイッチを「入」にします。

2 使用しないときは、自動便器洗浄スイッチを「切」にします。



※ 大小洗浄便器（リモコンに「大・小」スイッチがある場合）において、自動大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり・マイルド洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。



※ 自動便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 15 ページ）

※ 男性小用のとき、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上たつと、立ち去って 1 秒後に小洗浄します。（機種によっては、この機能がない場合があります。）

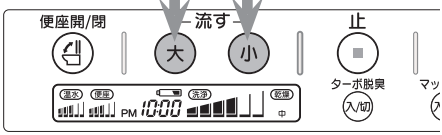
※ 手洗付タンクをご使用の場合、手を洗うときは流すスイッチを押して便器洗浄してください。

2. リモコン便器洗浄のしかた

シートタイプシャワートイレの場合、取り付けた便器の種類によって、リモコンの流すスイッチが「**大・小**」または「**大**」があります。

■大小洗浄便器の場合

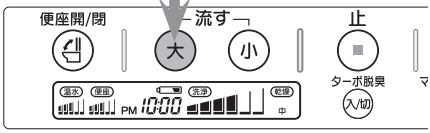
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。



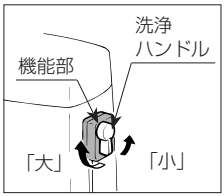
※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。

■大のみ洗浄便器の場合

便器洗浄時に「大」スイッチを押します。



※ 機能部がタンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。



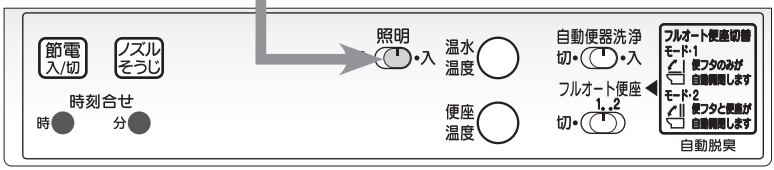
■ほのかライト　※機種によっては、一部機能(☆印付)がない場合があります。

人を検知すると、足元と便鉢内をほのかに照らします。
お買い上げ時は、「入」の状態になっています。
※「入」の場合、止スイッチの中央が点滅します。

1 照明入 / 切スイッチを「入」にします。

2 消灯するとき、または使用しないときは、照明入 / 切スイッチを「切」にします。

※ 人が便器から離れると、自動的に消灯します。



参考
- 補助灯なので、トイレの主照明は必ず設置してください。
- ほのかライト点灯中は、便器底部に影ができて汚れに見える場合があります。ほのかライトを消して確認してください。
- 止スイッチの中央の点滅を消すことができます。(☞ 17 ページ)

■より快適な機能

※電源ランプは、シャワートイレ本体にあります。

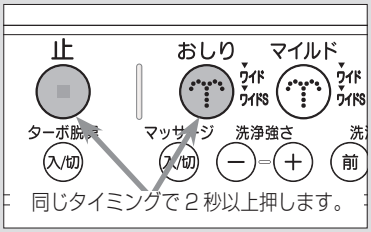
低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に、座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。
お買い上げ時は設定されていません。

■セットおよび元に戻す方法

- 止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。
  （セット完了時､本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）
- 元に戻すときも、同じ方法で行います。
  （元に戻すと、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）

※ この機能を使用中に、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。

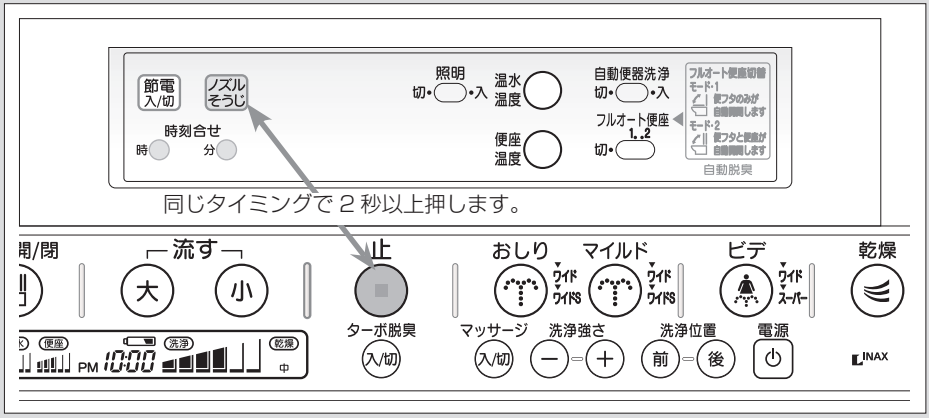


便器洗浄の開始時間を変更する〈自動便器洗浄付の場合〉

自動便器洗浄は、立ち上がってから約６秒後に、自動的に便器洗浄を開始する機能です。この開始時間を切り替えることができます。お好みに合わせて切り替えてください。
お買い上げ時は、約６秒後に設定されています。

■切替方法

- 止スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。（セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）同じ操作をするたびに開始時間が、６秒→ 10 秒→ 15 秒→２秒→６秒…の順に切り替わります。

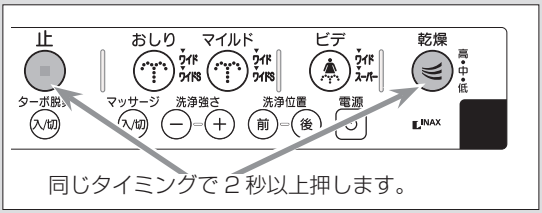


温風乾燥のはじめの温風温度を変える〈乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。
お買い上げ時は、「中」に設定されています。

■切替方法

● 止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで２秒以上押します。（セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅し、温風が始まる温度のランプ「高」「中」または「低」が点灯します。）



※乾燥開始温度が順次切り替わります。（液晶表示も順次切り替わります。）
※切替順は下図の通りです。

元の温風始動温度に戻す場合

● 止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで２秒以上押す操作を繰り返します。合計３度目の操作で、元の温風始動温度に戻ります。（元に戻すと、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度の切替わり方		
		１回目	２回目	３回目
お買い上げ時の設定	中	高	低	中
１度目	低	中	高	低
２度目	高	中	低	高

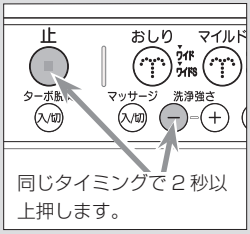
洗浄強さをさらに弱くするとき

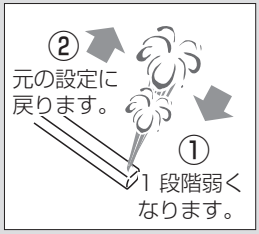
おしり洗浄の洗浄強さを「弱」より、さらに１段階弱くすることができます。
お買い上げ時は設定されていません。

■セットおよび元に戻す方法

● 止スイッチと弱スイッチを同じタイミングで２秒以上押します。（セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅して洗浄強さが弱くなります。）

● 元に戻すときも、同じ方法で行います。（元に戻すと、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）





※ 水圧の低いところでは、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますのでご注意ください。

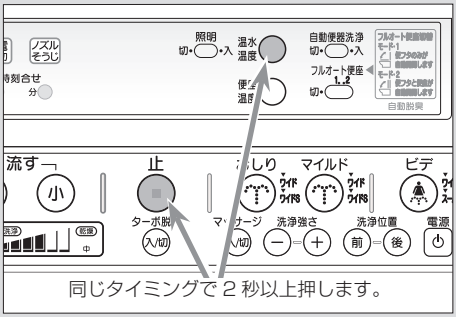
※電源ランプは、シャワートイレ本体にあります。

リモコン止スイッチ中央ライトを消灯に〈ほのかライト付の場合〉

ほのかライト起動時は、止スイッチの中央が点滅します。
下記の操作を行うと、止スイッチの中央の点滅を消灯することができます。

■切替方法

- 温水温度スイッチと止スイッチを同じタイミングで２秒以上押します。
- 元に戻すときも、同じ方法で行います。



《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。この「快適な機能」などで設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**「おしり」と「温水温度」、「便座温度」スイッチを同じタイミングで２秒以上**押してください。
（セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）

同じタイミングで２秒以上押します。

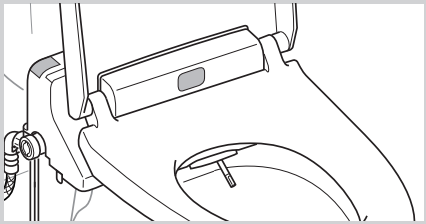
機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
	脱臭モード	通常モード
節電	ワンタッチ節電	切
洗浄強さ	「弱」をさらに１段階弱くする	切
温水温度		低
便座温度		低
フルオート便座		入
便座ヒーターオート OFF		切
乾燥	温風始動温度	中
自動便器洗浄		入
		立ち上がってから６秒後に開始
ほのかライト		入（リモコンのスイッチ点滅）
凍結防止		切

《変更した設定の記憶について》

「快適機能の使いかた」などで設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても、変更した設定は記憶されています。（節電機能は除く）

ノズルシャッターの掃除

柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。



注意

乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。

※ キズつきの原因になります。

ノズルシャッターを取り外し、掃除することもできます。

ノズルシャッターの外しかた

① 【自動便器洗浄】と【フルオート便座】〈自動便器洗浄、フルオート便座付の場合〉を「切」にし、便フタ・便座を上げてください。
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

② 便フタ・便座が空いている状態で、ノズルそうじスイッチを押します。
※ おしりノズルが出て、ノズルシャッターを押し上げます。

③ 止スイッチを押し、ノズルの動きを止めます。

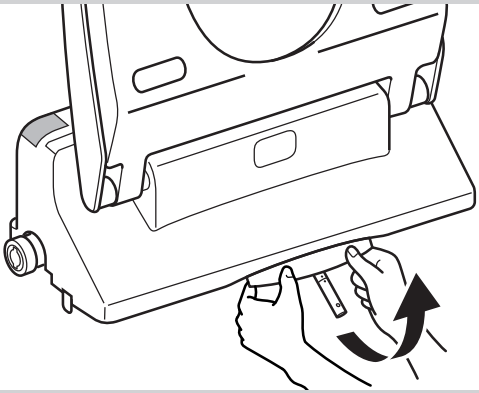
④ ノズルシャッターを両手で持ち上げ、上方に引っぱり取り外します。

⑤ 取り外したノズルシャッターを洗ってください。

②

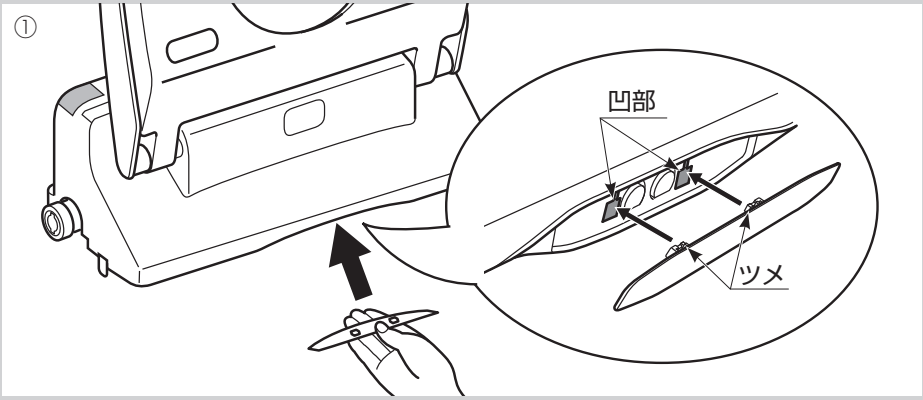
③

④



ノズルシャッターの取り付けかた

① ノズルが出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ（2 か所）をベース面の凹部に強く押し込みます。
※ ノズルが出ている場合は、「止」スイッチを押して戻します。



注意

“カチッ”と音がするまで押し込んでください。
また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。

シャッターには、上下の向きがあります。

無理な力を加えないでください。
※ 破損する恐れがあります。

ノズルの掃除

ノズルのお掃除のしかた

ノズルのお掃除には、以下の方法があります。

- 使用中(着座中)にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
- 日頃のお掃除時、しつこい汚れは、ノズルを電動で動かし、スポンジなどで掃除ができます。

●使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

リモコンのノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズルが本体に収納されたまま、約３秒間洗浄します。

※ おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

●お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

① 【自動便器洗浄】と【フルオート便座】〈自動便器洗浄、フルオート便座付の場合〉を「切」にし、便フタ・便座を上げてください。

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

② 便フタ・便座が開いている状態でノズルそうじスイッチを押し、おしりノズルを掃除します。

※ ノズル付近から約３秒間水が出た後、おしりノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。このとき、シャワーは噴出しません。

③ ノズルそうじスイッチを押し、ビデノズルを掃除します。

〈おしりノズル、ビデノズル共通〉

※ ノズルが小刻みに動いているので、スポンジを当てるだけで掃除ができます。

※ 約１分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後、もう一度ノズルそうじスイッチを押すと、再びノズルが伸びます。(☞ 22 ページ)

④ ノズルそうじスイッチを押します。

〈温風乾燥付の場合〉ビデノズルが戻り、替わって温風乾燥ダクトが伸びてきます。やわらかい布などでふいてください。

〈温風乾燥無の場合〉ビデノズルが戻ります。

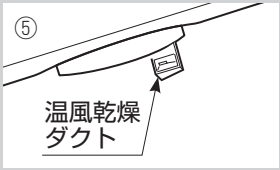
〈温風乾燥付の場合〉

⑤ 温風乾燥ダクトを掃除します。

※ 温風乾燥ダクトは、柔らかい布などで、ふいてください。

※ 約 1 分たつと、温風乾燥ダクトは自動で戻ります。温風乾燥ダクトが戻った後、もう一度ノズルそうじスイッチを押すと、再び温風乾燥ダクトが伸びます。

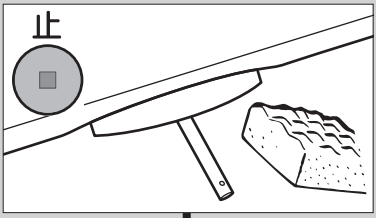
⑥ ノズルそうじスイッチを押します。温風乾燥ダクトが戻ります。



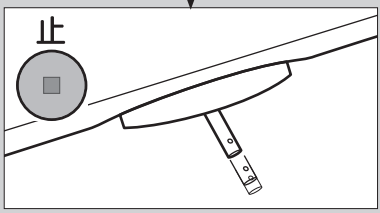
●ノズルの動きを止めるとき

リモコンの止スイッチを押してください。ノズルの動きが止まります。

※ 動きが止まった状態で、約 5 分たつとノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後にもう一度ノズルそうじスイッチを押してください。再び、ノズルが伸びます。



もう一度、止スイッチを押すと、ノズルが戻ります。



注意

ノズルに強い力をかけないでください。

※ 故障の原因になります。

ノズルを無理やり手で引っぱり出したり、押し戻したりしないでください。

※ ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。
もし、誤って引っぱり出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

ノズル先端の交換

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※ 別売品の購入方法についてはシャワートイレ本体の取扱説明書「別売品のご案内」をご覧ください。

ノズルの取外し

①【自動便器洗浄】と【フルオート便座】〈自動便器洗浄、フルオート便座付の場合〉を「切」にし、便フタ・便座を上げてください。
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

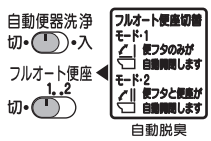
② ノズルそうじスイッチを押します。
※ おしりノズルが前に出てきて前後に動きます。
※ ノズル付近から水が出ます。

〈ビデノズルを交換したい場合〉
もう一度、ノズルそうじスイッチを押します。
※ ビデノズルが前に出てきて前後に動きます。

③ 止スイッチを押して、ノズルの動きを止めます。
※ ノズルは約 5 分間動きを止めますので、この間にノズルを交換します。

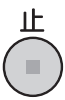
④「ノズル先端」を反時計回りに回し「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせて、引き抜きます。
※ 少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押えて取り外してください。

①

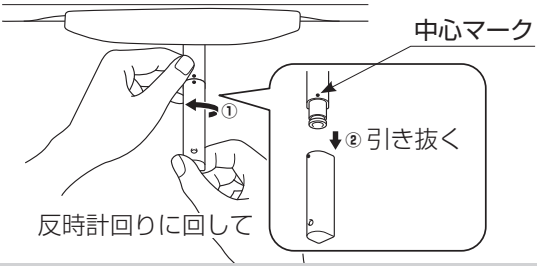


②

③



④



※ ノズルが停止している間に「ノズルの取付け」（☞ 24 ページ）の手順にしたがって新しいノズルに交換してください。

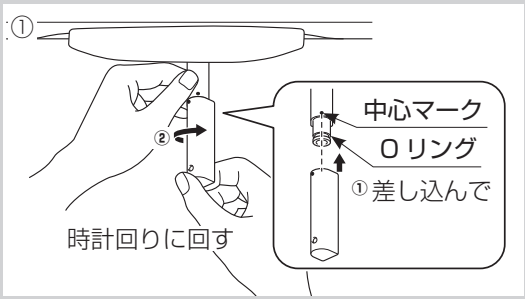
注意
着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

ノズルの取付け

※ ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズルの取外し」(☞ 23 ページ)の操作をしてノズルを出してください。

① 「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル端を動かなくなるまで時計回りに回します。

※ ノズルの奥側を手で押えて取り付けてください。

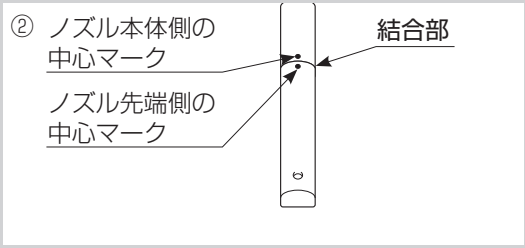


注意

ノズル本体の O リングをキズつけないようにしてください。

※ 漏水の原因になります。

② ノズル本体とノズル先端側の結合部を確認してください。



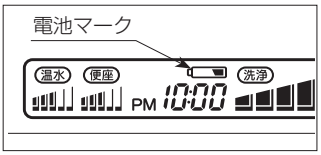
注意

取付後、ノズル本体側とノズル先端側の「中心マーク」が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認してください。

※ 故障する恐れがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。

③ 止スイッチを押してノズルを戻します。

リモコンの電池交換



電池の寿命が近づくと、電池マークが点滅表示します。

※ 通常は、電池マークは表示していません。

※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。

※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

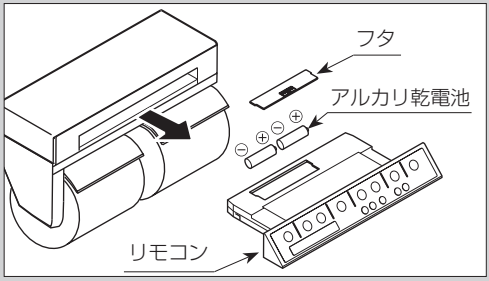
電池マークが点滅したら下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

注意

- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ乾電池を使用してください。**
  ※アルカリ乾電池以外を使用すると、正常に作動しない場合があります。

リモコン電池の取替方法 ⇒動画を見る

1. リモコンを手前に引き出します。
   ※ 途中で止まってしまった場合、リモコンを元に戻してから一気に引き出してください。
2. フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、2 本）に取り替えます。



3. フタを元通りにはめ、時刻合わせ「時」「分」スイッチを押して時刻を合わせます。
4. リモコンをホルダーに納めます。

⚠ 警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

指示実行

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄する時は、テープなどで絶縁を行ってください。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

禁止

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

株式会社 LIXIL　　ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～18:00
　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は

お求めの取扱店または
INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9：00～20：00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

取扱店

GCW-1216J(13030)